

## アジア経済概況(2016年7-9月)

調査部 研究員 細尾 忠生・野田 麻里子

## 【目次】

## . 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況・・・7-9月期の成長率は+6.7%と前期から横ばい ..... p.2
2. 中国の主要指標解説:懸念される不良債権問題 ..... p.4
3. 台湾経済の概況・・・7-9月期の実質 GDP 成長率は+2.1%に拡大 ..... p.5
4. 韓国経済の概況・・・7-9月期の実質 GDP 成長率は+2.7%に鈍化 ..... p.6

## . ASEAN・インド

1. タイ経済の概況・・・7-9月期の成長率は+3.2%と小幅鈍化 ..... p.7
2. インドネシア経済の概況・・・7-9月期の成長率は+5.0%と小幅鈍化 ..... p.8
3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ..... p.9
4. ベトナム経済の概況・・・1-9月期の成長率は+5.9%と前年同期から鈍化 ... p.10
5. インド経済の概況・・・景気の基調は弱いが一部に持ち直しの動き ..... p.11

## . アジア通貨・株価動向 ..... p.12

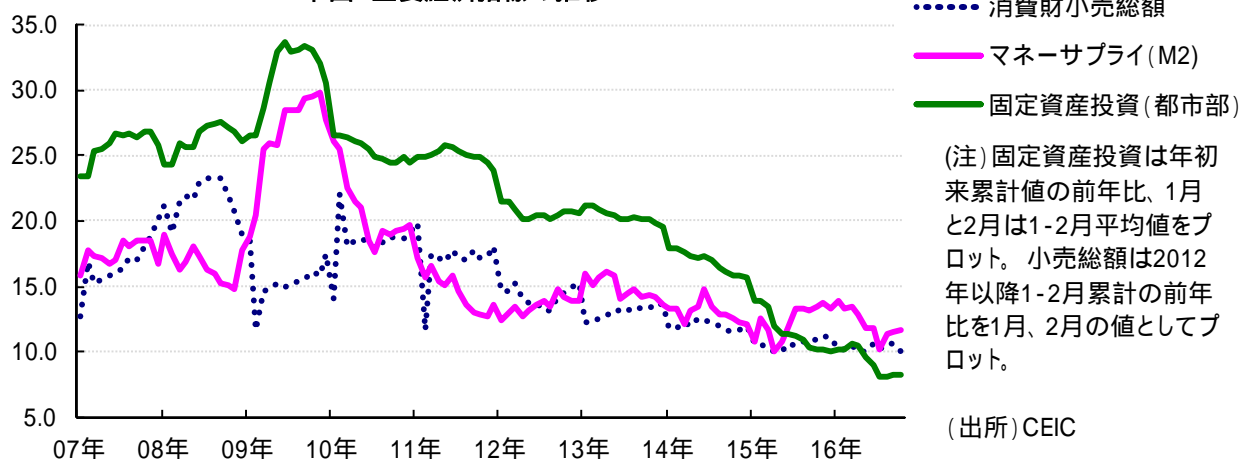
## 中華圏・韓国

## 1. 中国経済の概況

- ・景気は減速基調だが、一部に持ち直しの動きが出ている。
- ・7-9月期の実質GDP成長率は前年比+6.7%と前期から横ばいだった。前期比ベースでも+1.8%（年率換算で+7.2%）と、前期（+1.9%、年率換算で+7.6%）とほぼ同程度であった。産業別には第2次産業の成長率が前年比+6.1%と前期の同+6.3%から減速したが、第3次産業は、前年比+7.6%と前期の同+7.5%からわずかに加速した。一方、名目GDP成長率は前年比+7.4%と、今年に入り3四半期連続で7%台の成長が続き、7四半期ぶりの高成長となった。また、経済全体の物価動向を示すGDPデフレーターは同+1.0%と3四半期連続でプラスとなり2年ぶりの上昇率となった。
- ・10月の消費（消費財小売総額）は前年比+10.0%と前月（同+10.7%）から減速した。消費の伸びを押し上げてきた自動車販売が、昨年10月に導入された減税による押し上げ効果が一巡し前年比+19.3%と鈍化したことが主因である。もっとも、伸び率自体は依然として高い水準を維持しており個人消費は底堅く推移している。
- ・1-8月期の固定資産投資は前年比+8.3%と2カ月連続で伸びが小幅拡大した。インフラ関連投資が底堅く推移しており固定資産投資を下支えしている。
- ・10月の輸出は前年比-7.4%と20カ月連続で減少した。一方、輸入は同-1.2%と、8月におよそ1年半ぶりに増加に転じたものの、その後は2カ月連続で減少した。
- ・10月の製造業購買担当者指数（PMI）は景気の拡大と縮小の分岐点である50を3カ月連続で上回り、51.2と2年3ヶ月ぶりの水準に改善した。中国経済は様々な構造問題に直面しているものの、短期的な循環局面をみると持ち直しの動きが出ている。
- ・10月の消費者物価上昇率は食品価格の上昇により前年比+2.1%と2カ月連続で加速したが、政府目標の3%を下回る水準で安定している。一方、生産者物価指数は10月は同+1.2%と、およそ4年半ぶりに前年比プラスとなった9月から上昇率が加速した。

（前年比、%）

中国：主要経済指標の推移



【中国・香港の主要経済指標】

			2013年	2014年	2015年	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/7月	16/8月	16/9月	16/10月		
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.7	1.6	1.2	1.9	1.8					
			前年比%				6.9	6.8	6.7	6.7	6.7					
		(累計ベース)	前年比%	7.8	7.3	6.9	7.0	6.9	6.7	6.7	6.7					
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	10.2	8.2	6.4	6.6	6.4	7.1	7.2	7.4					
	消費	消費財小売総額	前年比%	13.1	12.0	10.7	10.7	11.1	10.4	10.2	10.5	10.2	10.6	10.7	10.0	
		うち都市部	前年比%	12.9	11.8	10.5	10.5	10.9	10.3	10.1	10.5	10.1	10.6	10.7	10.0	
		うち農村部	前年比%	14.6	12.9	11.8	12.0	12.1	11.0	10.9	10.9	10.7	10.9	11.0	10.3	
		自動車販売台数	前年比%	13.9	6.9	4.7	2.4	15.8	6.0	10.2	24.9	23.2	24.4	26.6	19.3	
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	15.7	9.9	7.3	1.9	18.6	6.7	11.8	27.7	26.5	26.6	29.5	21.0	
		消費者自信指数	期中平均	101.2	104.4	105.9	104.7	103.9	102.8	101.2	105.7	106.8	105.6	104.6	107.2	
		消費者期待指数	期中平均	105.5	107.9	108.8	107.4	106.3	105.6	104.3	108.6	109.8	108.3	107.6	110.2	
		投資	固定資産投資(都市部; 累計ベース)	前年比%	19.6	15.7	10.0	10.3	10.0	10.7	9.0	8.2	8.1	8.1	8.2	8.3
			うち不動産・居住用建物	前年比%	20.3	11.1	2.5	3.8	2.5	8.2	7.2	6.3	6.2	6.0	6.3	6.6
			うち国内企業	前年比%	20.5	16.3	10.6	10.8	10.6	10.4	8.7	7.8	7.7	7.7	7.8	8.0
	うち製造業		前年比%	18.5	13.5	8.1	8.3	8.1	6.4	3.3	3.1	3.0	2.8	3.1	3.1	
	うち鉄鋼		前年比%	2.1	5.9	11.0	13.6	11.0	3.1	1.9	0.4	1.2	0.7	0.4	0.2	
	うち自動車		前年比%	15.0	8.3	14.2	11.3	14.2	22.3	6.9	5.8	7.7	7.8	5.8	2.8	
	うち電気機械		前年比%	10.7	12.9	8.7	9.3	8.7	14.7	12.3	12.1	11.4	11.5	12.1	11.6	
	うち情報通信機器		前年比%	20.2	10.7	13.3	17.0	13.3	13.4	7.7	11.5	9.8	11.8	11.5	12.7	
	直接投資契約件数(累計ベース)		前年比%	8.5	4.3	11.7	10.0	11.7	1.6	12.5	12.2	9.7	10.2	12.2	7.4	
	直接投資実行額(累計ベース)		前年比%	2.3	3.7	5.5	8.6	5.5	1.5	1.5	0.2	0.6	0.6	0.2	0.2	
	不動産景気指数	期中平均	97.3	95.2	93.2	93.3	93.3	93.9	94.4	93.9	94.0	93.7	94.1	94.1		
	貿易 国際 収支 外準	貿易収支	10億ドル	259.0	383.1	593.9	163.6	174.8	125.7	143.4	144.3	50.2	52.0	42.0	49.1	
		輸出(ドルベース)	前年比%	7.8	6.0	2.9	5.9	5.2	9.7	4.4	6.7	6.4	3.2	10.2	7.4	
		輸入(ドルベース)	前年比%	7.2	0.5	14.3	14.4	11.8	13.3	6.7	4.7	12.9	1.4	1.9	1.2	
		経常収支	10億ドル	148.2	277.4	330.6	65.5	91.9	39.3	64.1	71.2					
		外貨準備	期末10億ドル	3821.3	3843.0	3330.4	3514.1	3330.4	3212.6	3205.2	3166.4	3201.1	3185.2	3166.4	3120.7	
		生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	9.7	8.3	6.1	6.2	6.1	5.8	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
			うち国有企業	前年比%	6.9	4.9	1.4	1.3	1.4	0.1	0.2	1.0	0.3	0.7	1.0	1.2
			うち株式会社	前年比%	11.0	9.7	7.3	7.5	7.3	7.2	7.2	6.9	7.1	7.0	6.9	6.9
			うち外商・港台企業	前年比%	8.3	6.3	3.7	3.5	3.7	3.3	3.2	4.2	3.5	3.9	4.2	4.3
			電力消費量(累計ベース)	前年比%	7.5	4.1	1.0	0.8	1.0	3.2	2.7	4.5	3.6	4.2	4.5	4.8
	製造業購買担当者指数(PMI)		%	50.8	50.7	49.9	49.8	49.7	49.5	50.1	50.2	49.9	50.4	50.4	51.2	
	うち新規受注		%	51.7	51.6	50.2	49.9	50.1	49.8	50.7	50.9	50.4	51.3	50.9	52.8	
	うち雇用		%	48.9	48.3	47.9	47.9	47.6	47.8	48.0	48.4	48.2	48.4	48.6	48.8	
	新規輸出受注	%	49.4	49.6	47.9	47.8	47.1	48.2	49.9	49.6	49.0	49.7	50.1	49.2		
	非製造業購買担当者指数(PMI)	%	54.9	54.4	53.6	53.6	53.7	53.3	53.4	53.7	53.9	53.5	53.7	54.0		
	所得	都市一人当可処分所得(累計ベース)	前年比%	7.7	9.0	8.2	8.4	8.2	8.0	8.0	7.8					
	雇用	労働力市場求人倍率	期末	1.10	1.15	1.10	1.09	1.10	1.07	1.06	1.10					
	物価	消費者物価指数	前年比%	2.6	2.0	1.4	1.7	1.5	2.1	2.1	1.7	1.8	1.3	1.9	2.1	
うち食品		前年比%	4.7	3.1	2.3	3.0	2.3	6.3	6.0	2.6	3.3	1.3	3.2	3.7		
生産者物価指数		前年比%	1.9	1.9	5.2	5.7	5.9	4.8	2.9	0.8	1.7	0.8	0.1	1.2		
金融		マネーサプライ(M2)	前年比%	13.6	12.2	13.3	13.1	13.3	13.4	11.8	11.5	10.2	11.4	11.5	11.6	
	インバーン金利(翌日物)	期中平均%	3.30	2.74	2.04	1.64	1.86	2.03	2.06	2.10	2.07	2.08	2.16	2.24		
	株価指数(上海総合)	期末	2,116	3,235	3,539	3,053	3,539	3,004	2,930	3,005	2,979	3,085	3,005	3,100		
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.20	6.14	6.23	6.26	6.39	6.53	6.55	6.67	6.68	6.65	6.67	6.74		
	為替レート(円/元)	期中平均	15.8	17.2	19.4	19.5	19.0	17.7	16.5	15.4	15.6	15.2	15.3	15.4		
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	3.1	2.7	2.4	2.3	1.9	0.8	1.7	1.9					
		うち民間消費	前年比%	4.6	3.3	4.7	4.4	2.7	1.2	0.5	1.2					
		うち固定資本形成	前年比%	2.6	0.1	2.0	6.2	9.4	9.6	5.0	6.0					
		名目GDP成長率	前年比%	5.0	5.6	6.2	5.8	4.8	3.1	3.7	3.4					
	消費	小売販売数量指数	前年比%	10.8	0.4	0.2	0.2	4.4	12.3	7.8		6.1	13.3			
	貿易	貿易収支	10港HKドル	503	550	442	90	108	98	103	105	33	32	40		
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	3.6	3.2	1.8	4.1	2.8	6.8	1.1	0.3	5.1	0.8	3.6		
		輸入(香港ドルベース)	前年比%	3.8	3.9	4.1	6.7	7.1	8.2	3.2	1.2	3.3	2.8	4.1		
	物価	消費者物価指数	前年比%	4.3	4.4	3.0	2.3	2.4	2.9	2.7	3.5	2.4	5.1	2.9		
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	11.7	12.6	7.1	5.3	4.4	4.7	2.7	6.4	5.3	5.5	8.3		
ハンセン指数		期末ポイント	23,306	23,605	21,914	20,846	21,914	20,777	20,794	23,297	21,891	22,977	23,297	22,935		

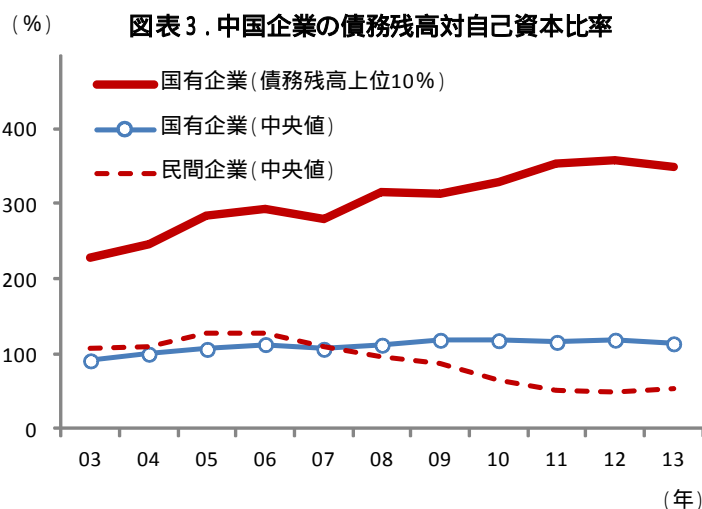
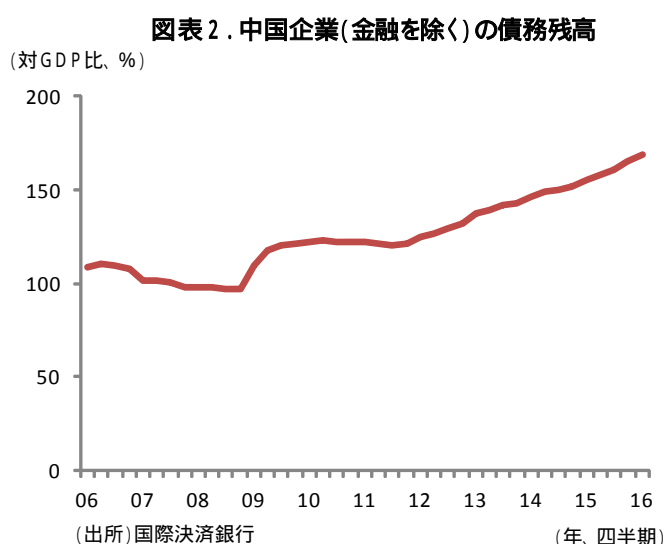
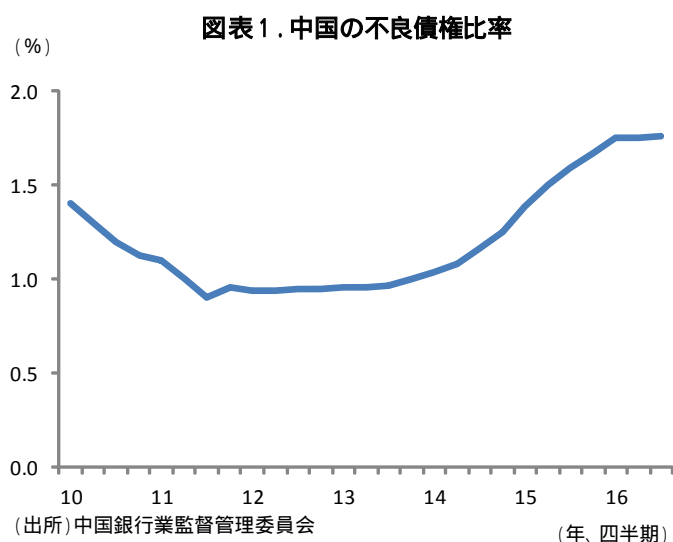
(出所) CEIC (注) 累計ベース: 年初来累計

## 2. 中国の主要指標解説：懸念される不良債権問題

中国の銀行（商業銀行）の9月末時点における不良債権残高は1兆4,939億元（約23兆円）となり、貸出全体に占める不良債権比率は1.76%であった（図表1）。

不良債権比率が低位に止まるとはいえ上昇傾向が続いていること、また、不良債権の一步手前に区分される要  
注意債権が増加していること、さらに、金融危機以降に企業の債務残高が増加したため、景気減速にともない不  
良債権が一段と増加するおそれがあることなどが懸念されており（図表2）政府は債務の株式化やバッドバンク  
の活用を促すなどの政策対応を進めている。

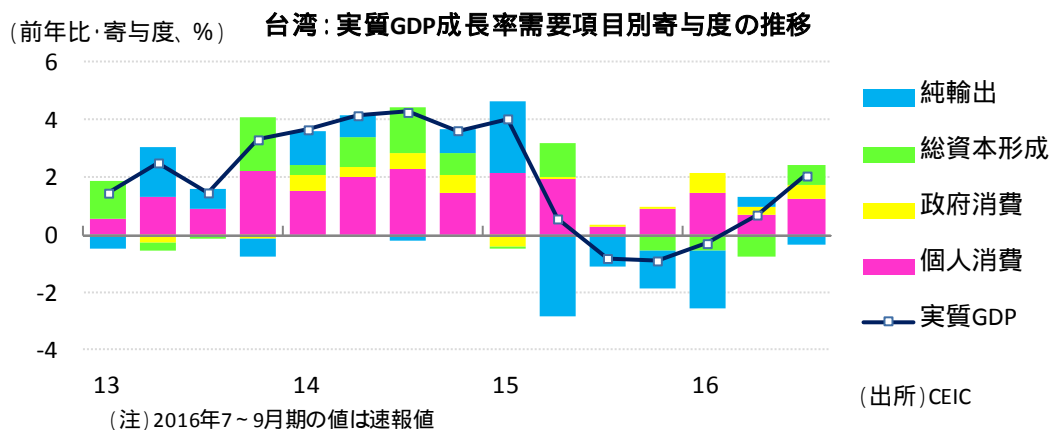
国際通貨基金（IMF）の分析によれば、大半の中国企業では、債務残高が自己資本と同程度か、自己資本の  
範囲内にとどまり、財務の健全性が高い反面、大手国有企業の一部で、自己資本の3~4倍程度の過剰な債務を  
抱える企業が存在していることを指摘しており、不良債権問題と国有企業問題が密接に結びついていることを示  
唆している（図表3）。将来的には、存続の見込みが低く過剰な債務を抱える大手国有企業について、企業再編と  
債務再編が同時に迫られる可能性があると考えられる。



(出所) Chivakul and Lam(2015) "Assessing China's Corporate Sector Vulnerabilities," IMF Working Paper 15/75

## 3. 台湾経済の概況

- ・ 景気に持ち直しの動きが見られる。
- ・ 7-9 月期の実質 GDP 成長率は前年比 +2.1% と 1 年半ぶりの高成長となった。個人消費の堅調が続く中、景気の牽引役である輸出が電子部品などを中心に 2 四半期連続で増加したことが寄与した。（純輸出では 2 四半期ぶりの減少）。また、設備、在庫、住宅、公共投資を合計した総資本形成は、5 四半期ぶりに増加に転じた。民間投資が増加に転じたものとみられる。
- ・ 10 月の輸出は、輸出の約 3 割を占める電子部品の好調から前年比 +9.4% と 2 年 2 か月ぶりの高い伸びを記録した。ファウンドリー（半導体受託製造）最大手の台湾積体電路製造の 10 月の売上高が過去 2 番目の水準となるなど、米中のスマートフォン・メーカーからの受注が拡大しており、電子部品を中心に輸出の好調が続く見込みである。
- ・ 台湾中銀は、昨年 9 月、12 月、今年 3 月、6 月と 4 回連続して利下げを行った（1.875% → 1.375%）。もっとも、景気に持ち直しの動きがみられるため、次回 12 月の金融政策決定会合では、前回 9 月会合に続き政策金利は据え置かれる公算が大きい。



【台湾の主要経済指標】

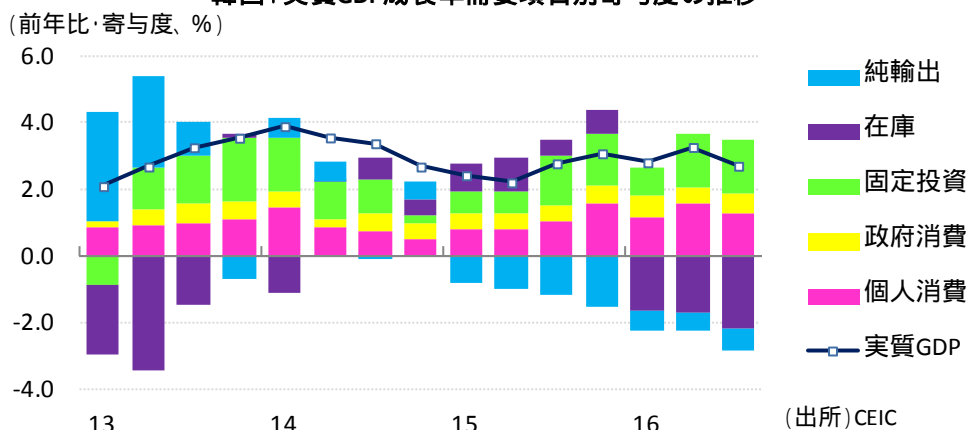
		2013年	2014年	2015年	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/7月	16/8月	16/9月	16/10月
GDP (yoy)	実質 GDP (前期比)				0.1	0.2	0.8	0.1	p 1.1				
	(前年比)	2.2	3.9	0.6	0.8	0.9	0.3	0.7	p 2.1				
	うち個人消費	2.3	3.3	2.3	0.5	1.7	2.5	1.2	p 2.4				
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	5.3	1.8	1.2	3.2	1.4	0.2	0.1					
7.1	3.2	2.8	5.2	5.3	0.2	1.1							
生産	鉱工業生産(yoy)	0.7	6.4	1.7	4.7	5.7	4.3	0.2	3.9	0.4	7.8	4.6	
消費	卸小売販売指数(yoy)	2.6	2.6	4.2	3.2	3.0	1.4	0.3	3.2	1.2	5.5	2.9	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	33.4	38.2	48.1	11.8	12.0	12.2	11.9	11.9	3.6	4.0	4.4	4.4
	輸出(yoy)	1.6	2.8	10.9	14.0	13.9	12.1	6.2	0.1	1.1	1.0	1.8	9.4
	輸出受注(yoy)	0.4	6.7	4.4	5.9	7.9	8.3	6.5	2.9	3.4	8.3	3.9	
	輸入(yoy)	0.2	1.4	15.8	18.5	15.1	14.0	7.6	0.1	0.1	0.8	0.7	19.5
	経常収支(10億ドル)	51.3	61.9	75.8	18.3	20.3	20.0	17.1					
	外貨準備高(10億ドル)	417	419	426	426	426	432	434	437	434	436	437	435
雇用	失業率(季調値)	4.2	4.0	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	
物価	消費者物価(yoy)	0.8	1.2	0.3	0.3	0.3	1.7	1.3	0.7	1.2	0.6	0.3	1.7
金融	マネーサプライ(M2, yoy)	5.8	6.1	5.8	6.8	5.8	4.7	4.7	4.0	4.7	4.2	4.0	
	株価指数(加権指数)	8,612	9,307	8,338	8,181	8,338	8,745	8,667	9,167	8,984	9,069	9,167	9,290
	短期金利(オールナイト)	0.39	0.39	0.36	0.36	0.29	0.21	0.20	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
	為替レート(NT\$/ドル)	29.8	30.4	31.9	32.2	32.8	33.4	32.4	31.7	32.1	31.6	31.5	31.6
	為替レート(円/NT\$)	3.28	3.49	3.79	3.79	3.70	3.46	3.33	3.23	3.24	3.21	3.23	3.29

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 景気は依然として低迷している。
- ・ 7-9 月期の実質 GDP 成長率は、前年比 +2.7% に鈍化した。前期比では +0.7% と 4 四半期連続で 0% 台にとどまった。かつての経済成長のけん引役であった輸出が、近年は小幅な伸びにとどまっていることが景気低迷の主因とみられる。また、7-9 月期は、サムスン電子の最新型スマートフォンのリコール、現代自動車のスト長期化、海運最大手の韓進海運の経営破たんによる物流の混乱などによる生産、輸出の停滞が成長率低迷の要因になったとみられる。
- ・ 10 月の輸出（通関ベース）は前年比 -3.2% となり、8 月におよそ 1 年半ぶりに前年比プラスに転じたもののその後 2 カ月連続で減少した。
- ・ 韓国中銀は 6 月に利下げを実施した後（1.50% → 1.25%）7 月以降は 5 カ月連続で政策金利を据え置いた。朴大統領の知人による国政介入疑惑を巡る政治的混乱にともない、労働改革や景気対策などの政策運営の停滞に加え、マインド悪化やデモ実施にともなう経済活動の停滞により、景気が一段と下押しされる懸念がある。

韓国：実質 GDP 成長率需要項目別寄与度の推移



【韓国の主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/7月	16/8月	16/9月	16/10月
GDP (yoy)	実質 GDP (前期比)				1.2	0.7	0.5	0.8	0.7				
	実質 GDP (前年比)	2.9	3.3	2.6	2.8	3.1	2.8	3.3	2.7				
	うち個人消費	1.9	1.7	2.2	2.2	3.3	2.2	3.3	2.6				
	うち固定資本形成	3.3	3.4	3.8	5.1	5.4	3.0	5.3	5.4				
	うち設備	0.8	6.0	5.3	6.7	3.9	4.5	2.7	4.5				
生産	鉱工業生産 (yoy)	0.7	0.2	0.6	0.2	0.1	0.3	1.0	0.6	1.6	2.2	2.0	
消費	小売売上高 (数量, yoy)	0.7	2.0	3.8	3.5	6.2	4.6	6.2	3.6	4.4	6.1	0.5	
貿易及び 対外 関連	貿易収支 (10億ドル)	44.0	47.2	90.3	20.3	23.7	21.4	26.8	19.5	7.5	5.1	6.9	7.0
	輸出 (yoy)	2.1	2.3	8.0	9.5	12.0	13.6	6.7	5.0	10.5	2.6	5.9	3.2
	輸入 (yoy)	0.8	1.9	16.9	18.7	17.8	16.1	10.2	5.2	13.7	0.7	1.7	4.8
	経常収支 (10億ドル)	81.1	84.4	105.9	29.1	26.4	24.1	25.8	22.2	8.7	5.3	8.3	
	外貨準備高 (10億ドル)	346	364	368	368	368	370	370	378	371	375	378	375
雇用	失業率 (季調値)	3.1	3.5	3.6	3.6	3.5	3.8	3.7	3.8	3.6	3.8	4.0	3.7
物価	消費者物価 (yoy)	1.3	1.3	0.7	0.7	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.4	1.2	1.3
金融	マネーサプライ (New M2, yoy)	4.6	8.1	8.2	9.0	8.2	7.9	6.7	7.2	7.6	7.3	7.2	
	株価指数 (総合)	2,011	1,916	1,961	1,963	1,961	1,996	1,970	2,044	2,016	2,035	2,044	2,008
	CD レート (3カ月物)	2.72	2.49	1.77	1.63	1.61	1.64	1.54	1.35	1.36	1.35	1.34	1.35
	為替レート (ウォン/ドル)	1,095	1,053	1,131	1,169	1,157	1,202	1,163	1,121	1,144	1,112	1,107	1,125
	為替レート (円/100ウォン)	8.9	10.1	10.7	10.3	10.5	9.6	9.2	9.2	9.3	9.2	9.2	9.1

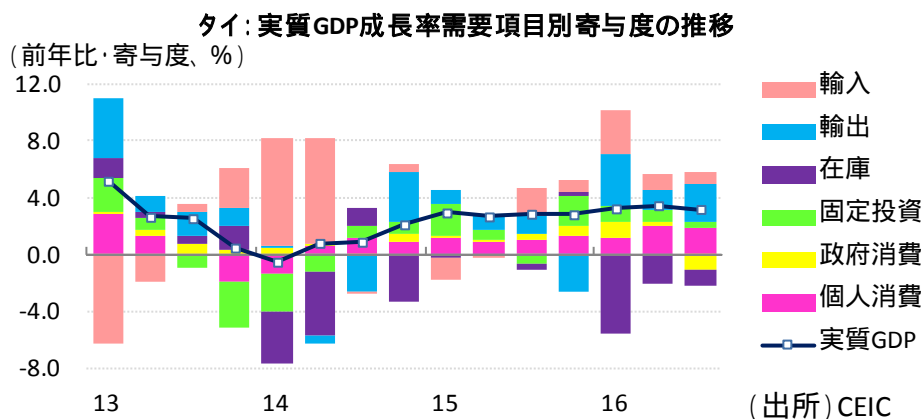
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)



## ASEAN・インド

## 1. タイ経済の概況

- ・景気は緩やかな回復基調にある。
- ・7-9 月期の実質GDP成長率は前年比 +3.2%と前期（同 +3.5%）から小幅鈍化した。旱魃の影響が和らぎ農家所得が拡大したことなどから個人消費（同 +3.5%）は堅調に推移し、またサービス輸出（同 +14.7%）も依然として好調だが、予算の前倒し執行の反動から政府消費（同 -5.8%）が大幅に減少し、成長率を押し下げた。政府は2016年通年の成長率見通しを +3.2%としている。
- ・10月13日にプミポン国王が崩御された。服喪期間（政府関係は1年間）に入り国内に自粛ムードが広がっている。しかし、政府が輸出促進策など経済振興策を打ち出し、経済の停滞回避に努めており、実体経済への影響は大洪水時や政局混迷時に比べて小さなものにとどまるとみられている。
- ・タイ中銀は11月9日の金融政策会合で昨年4月の0.25%ポイントの利下げ以降12会合連続となる政策金利の据え置き（1.50%）を決めた。中銀は声明で国内外に景気を下押しする不安定要因はあるものの、タイ経済はほぼ予想通りのペースで拡大しているとの判断を示している。



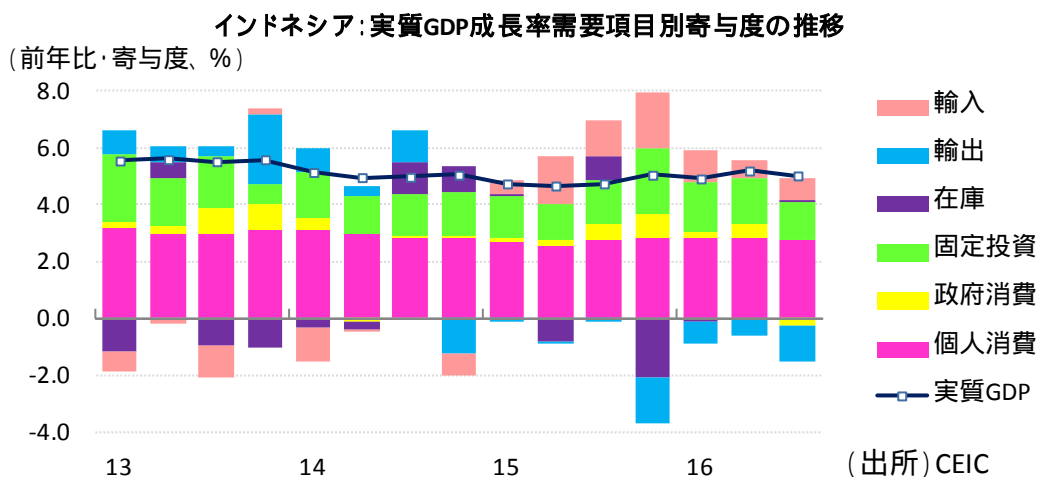
【タイの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/7月	16/8月	16/9月	16/10月
GDP (yoy)	実質GDP	2.7	0.8	2.8	2.9	2.8	3.2	3.5	3.2				
	個人消費	1.0	0.6	2.1	1.8	2.6	2.3	3.8	3.5				
	総固定資本形成	1.0	2.4	4.7	2.6	9.4	4.9	3.2	1.4				
生産	製造業生産指数(yoy)	2.4	5.2	0.3	0.9	0.2	0.9	1.7	0.5	5.0	3.2	0.6	
消費	個人消費指数(yoy)	2.1	0.7	1.7	1.2	3.2	2.5	3.8	3.3	4.3	3.5	2.2	
投資	民間企業投資指数(yoy)	0.9	2.4	1.0	1.4	1.6	1.1	0.9	0.3	0.2	0.6	0.1	
輸出入 BOP <sup>A</sup> -S	貿易収支(10億 <sup>ドル</sup> )	0.1	17.3	26.8	7.6	7.7	11.8	8.3	9.0	2.5	2.7	3.7	
	輸出(yoy)	0.1	0.3	5.6	4.6	7.9	1.5	2.5	0.4	5.0	2.7	3.5	
	輸入(yoy)	0.1	7.9	10.6	13.6	12.5	14.7	7.8	2.4	8.5	0.1	1.7	
国際収支	経常収支(10億 <sup>ドル</sup> )	4.8	15.1	32.1	6.2	11.2	17.9	8.0	10.3	3.6	3.8	2.9	
	外貨準備高(10億 <sup>ドル</sup> )	159.0	149.1	149.3	148.0	149.3	166.9	170.1	171.9	171.5	172.3	171.9	171.9
雇用	失業率(季調前)	0.7	0.8	0.9	0.9	0.8	0.9	1.1	0.9	1.0	0.9	0.9	1.2
物価	消費者物価(総合,yoy)	2.2	1.9	0.9	1.1	0.9	0.5	0.3	0.3	0.1	0.3	0.4	0.3
	消費者物価(コア,yoy)	1.0	1.6	1.1	0.9	0.8	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	7.3	4.7	4.4	5.4	4.4	3.7	4.3	3.9	4.2	4.3	3.9	
	株価指数(S E T)	1,299	1,498	1,288	1,349	1,288	1,408	1,445	1,483	1,524	1,548	1,483	1,496
	インターバンク金利(3M)	2.69	2.22	1.78	1.64	1.63	1.61	1.60	1.59	1.59	1.59	1.60	1.59
	為替レート(円/US\$)	30.7	32.5	34.2	35.2	35.8	35.7	35.3	34.8	35.1	34.7	34.7	35.1
	為替レート(円/ユーロ)	3.17	3.25	3.53	3.46	3.39	3.23	3.06	2.94	2.96	2.91	2.93	2.96

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

## 2. インドネシア経済の概況

- ・ 景気は緩やかなテンポで拡大を続けている。
- ・ 7-9 月期の実質 GDP 成長率は前年比 +5.0% と前期 (同 +5.2%) から小幅鈍化した。これは一次産品価格の低迷による歳入不足見通しを背景に歳出が抑制されたことから政府消費が同 -3.0% と減少に転じたこと、またアジアの近隣諸国を中心に海外需要が低迷したことから輸出が同 -6.0% とマイナス幅が拡大したことによる。一方、物価安定と金融緩和に支えられて個人消費は堅調に推移している。なお 10-12 月期についてはインフラ投資の拡大から景気の一段の減速はないと見込まれており、2016 年通年の成長率は前年並みの 4.5% ~ 5% 台前半を維持するとみられる。
- ・ インドネシア中銀は、物価の安定を背景に年初来 1 月、2 月、3 月、6 月と 4 回、合計 1.00% ポイントの利下げを実施し、景気のコトコトを助けてきた。8 月には政策金利を従来の BI (中銀短期証券) レートから 7 日物リバースレポ金利に変更し、一旦 5.25% に据え置いたが、9 月、10 月と 2 回連続、合計 0.5% ポイントの利下げを実施した (5.25% → 4.75%)。11 月には米大統領選後に国際金融市場で不透明感が強まっているものの、国内経済は安定しているとして、4.75% で据え置いた。



【インドネシアの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/7月	16/8月	16/9月	16/10月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.6	5.0	4.8	4.7	5.0	4.9	5.2	5.0				
	個人消費	5.4	5.2	5.0	5.0	4.9	5.0	5.1	5.0				
	総固定資本形成	5.0	4.6	5.1	4.8	6.9	5.6	5.1	4.1				
生産	製造業生産 (yoy)	6.0	4.8	4.8	4.0	4.8	4.1	5.0	5.1	8.8	6.1	0.5	
消費	小売売上指数 (yoy)	12.9	14.5	13.3	7.2	9.9	11.5	13.7	8.0	6.3	11.4	6.6	5.2
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	4.1	2.2	7.7	2.7	0.5	1.7	1.9	2.1	0.5	0.4	1.3	1.2
	輸出 (yoy)	3.9	3.6	14.6	16.2	18.7	14.0	8.7	5.3	16.9	0.2	0.2	4.6
	(除く石油ガス、yoy)	2.0	2.6	9.7	10.5	15.5	9.6	6.1	2.2	15.1	3.7	3.3	8.4
	輸入 (yoy)	2.6	4.5	19.9	23.4	20.8	13.0	8.5	3.9	10.6	0.1	2.3	3.3
国際収支	経常収支 (10億ドル)	29.1	27.5	17.6	3.9	4.9	4.8	5.0	4.5				
	外貨準備高 (10億ドル)	92.9	105.5	100.1	95.6	100.1	101.2	103.2	109.1	104.8	107.0	109.1	108.6
物価	消費者物価 (yoy)	6.4	6.4	6.4	7.1	4.8	4.3	3.5	3.0	3.2	2.8	3.1	3.3
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	12.8	11.9	9.0	12.4	9.0	7.4	8.7	5.1	8.2	7.8	5.1	
	株価指数 (総合)	4,274	5,227	4,593	4,224	4,593	4,845	5,017	5,365	5,216	5,386	5,365	5,423
	7日物リバースレポ金利	n.a.	n.a.	6.25	6.25	6.25	5.50	5.25	5.00	5.25	5.25	5.00	4.75
	為替レート (円/ドル)	10,563	11,885	13,458	14,055	13,758	13,506	13,333	13,131	13,094	13,300	12,998	13,051
	為替レート (円/100ルピア)	0.05	0.06	0.07	0.87	0.88	0.85	0.80	0.78	0.79	0.77	0.78	0.80

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)



## 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/7月	16/8月	16/9月	16/10月
GDP (yoy)	実質GDP	4.7	6.0	5.0	4.7	4.5	4.2	4.0	4.3				
	個人消費	7.2	7.0	6.0	4.1	4.9	5.3	6.3	6.4				
	総固定資本形成	8.1	4.8	3.7	4.2	2.7	0.1	6.1	2.0				
生産	鉱工業生産(yoy)	3.4	5.1	4.5	4.5	2.9	3.3	3.7	4.0	4.1	4.9	3.2	
消費	自動車販売台数 (yoy)	4.5	1.6	0.0	2.6	4.1	22.0	6.3	12.4	27.6	2.1	5.7	14.2
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	22.6	25.2	23.4	5.5	7.1	5.7	4.5	4.4	0.5	2.1	1.8	
	輸出(yoy)	0.4	2.3	14.9	16.9	15.2	11.9	7.3	2.1	10.6	2.3	1.8	
	輸入(yoy)	4.8	1.4	15.9	19.0	18.8	14.3	6.3	0.0	9.9	5.7	4.9	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	11.3	14.8	8.9	1.1	2.5	1.2	0.5	1.5				
	外貨準備高 (10億ドル)	122	107	87	85	87	89	89	90	89	90	90	90
雇用	失業率(%)	3.1	2.9	3.2	3.2	3.2	3.4	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6	
物価	消費者物価(yoy)	2.1	3.1	2.1	3.0	2.6	3.4	1.9	1.3	1.1	1.5	1.5	
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	8.4	7.5	2.9	5.5	2.9	0.9	1.8	2.2	2.0	2.3	2.2	
	株価指数 (総合)	1,867	1,761	1,693	1,621	1,693	1,718	1,654	1,653	1,653	1,678	1,653	1,672
	インターバンク金利 (1M, %)	3.07	3.21	3.36	3.39	3.42	3.31	3.29	3.11	3.15	3.08	3.09	
	為替レート (リキ/ドル)	3.15	3.27	3.91	4.06	4.29	4.20	4.01	4.05	4.02	4.03	4.11	4.18
	為替レート (円/リキ)	30.9	32.3	31.0	30.1	28.3	27.4	26.9	25.3	26.0	25.1	24.8	24.9

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、鉱工業生産は2013年以降2010年基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/7月	16/8月	16/9月	16/10月
GDP (yoy)	実質GDP	7.1	6.2	5.9	6.2	6.5	6.8	7.0	7.1				
	個人消費	5.6	5.5	6.3	6.1	6.5	7.0	7.4	7.3				
	固定資本形成	11.8	6.2	15.2	13.9	24.2	28.2	24.6	23.5				
生産	鉱工業生産(yoy)	5.4	6.3	4.4	6.0	3.7	10.4	5.0	6.7	6.8	8.1	5.4	
消費	自動車販売台数(yoy)	15.7	29.5	22.9	23.1	26.6	21.6	32.7	25.5	22.0	40.1	16.2	8.6
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	5.7	3.3	12.2	3.8	4.5	5.5	6.4	5.9	2.1	2.0	1.9	
	輸出(yoy)	8.8	9.5	5.3	7.7	5.0	8.4	6.6	3.9	13.0	3.0	5.1	
	輸入(yoy)	0.5	4.8	8.7	12.1	13.7	8.8	27.3	7.7	1.7	12.2	13.5	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	11.4	10.8	7.7	1.0	1.5	0.7	0.1					
	外貨準備高 (10億ドル)	83.2	79.5	80.7	80.5	80.7	83.0	85.3	86.1	85.5	85.8	86.1	85.1
雇用	失業率(%)	7.2	7.0	7.0	6.5	5.6	5.8	6.1	5.4				
物価	消費者物価(yoy)	2.9	4.2	1.4	0.6	1.0	1.1	1.5	2.0	1.9	1.8	2.3	2.3
金融	マネーサプライ (yoy)	31.8	11.2	9.4	8.8	9.4	11.7	12.5	12.6	13.1	11.9	12.6	
	株価指数 (総合)	5,890	7,231	6,952	6,894	6,952	7,262	7,796	7,630	7,963	7,787	7,630	7,405
	国債 (3ヵ月, % 期末)	0.00	1.42	1.84	1.51	1.84	1.47	1.59	1.32	1.447	1.479	1.321	1.28
	為替レート (ペソ/ドル)	42.4	44.4	45.5	46.1	46.9	47.3	46.5	47.1	47.1	46.7	47.4	48.3
	為替レート (円/ペソ)	2.30	2.38	2.66	2.65	2.59	2.44	2.32	2.18	2.22	2.17	2.15	2.14

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)。

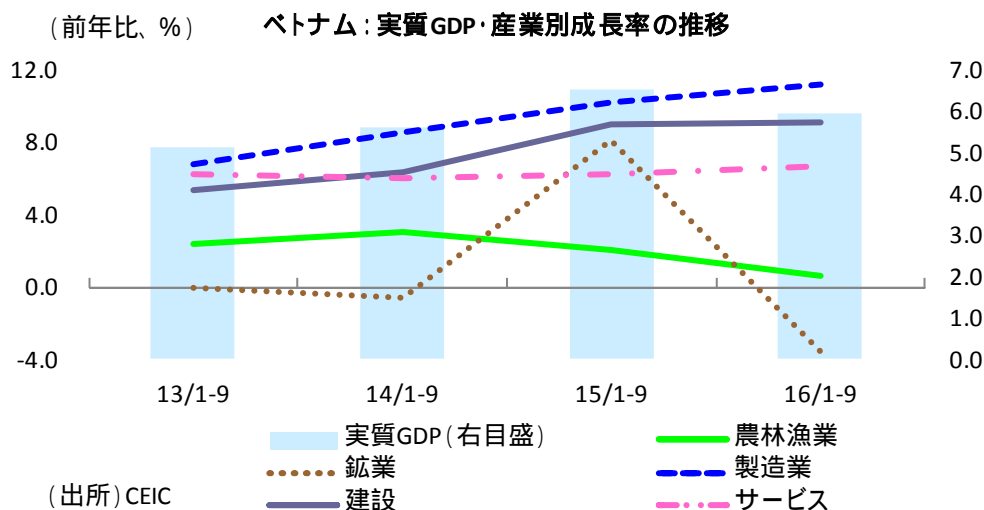
【シンガポールの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/7月	16/8月	16/9月	16/10月
GDP (yoy)	実質GDP	4.7	3.3	2.0	1.8	1.8	2.0	2.0	1.1				
	個人消費	3.1	2.2	4.5	4.6	5.5	3.9	1.3	0.6				
	総固定資本形成	5.7	2.6	1.0	1.6	0.7	2.2	0.1	2.7				
生産	鉱工業生産(yoy)	1.7	2.7	5.1	5.7	6.2	0.5	1.4	1.3	3.4	0.5	6.7	
消費	小売売上金額(yoy)	0.3	2.7	4.7	5.5	3.5	3.7	2.6	1.4	2.9	0.5	2.0	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	406.9	405.1	346.4	10.8	12.4	9.8	12.6	13.3	4.2	3.9	5.2	4.1
	輸出(yoy)	0.1	0.5	14.5	17.3	13.3	14.6	5.8	0.7	9.9	6.2	2.6	8.0
	輸入(yoy)	1.8	1.9	19.0	18.3	17.1	10.6	7.8	4.0	11.6	2.6	2.4	4.8
国際収支	経常収支 (10億ドル)	53.8	53.5	57.9	14.9	14.7	13.6	16.5	18.2				
	外貨準備高 (10億ドル)	273	257	248	252	248	246	249	253	251	252	253	251
雇用	失業率(季調値, %)	1.9	2.0	1.9	2.0	1.9	1.9	2.1	2.1				
物価	消費者物価(yoy)	2.4	1.0	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	0.4	0.7	0.3	0.2	0.1
金融	マネーサプライ (M2, %)	4.3	3.3	1.5	3.2	1.5	2.1	4.3	5.2	5.6	6.4	5.2	
	株価指数 (ストリート)	3,167	3,365	2,883	2,791	2,883	2,841	2,841	2,869	2,869	2,821	2,869	2,814
	SIBOR(3M, 期末値, %)	0.40	0.46	1.19	1.14	1.19	1.06	0.93	0.87	0.88	0.87	0.87	0.87
	為替レート (ドル/ドル)	1.25	1.27	1.37	1.39	1.41	1.40	1.36	1.35	1.35	1.35	1.36	1.38
	為替レート (円/ドル)	77.9	83.4	88.0	87.7	86.3	82.1	79.4	75.7	77.1	75.1	75.0	75.0

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

## 4. ベトナム経済の概況

- ・ 緩やかな景気回復が続いている。
- ・ 1-9 月期の実質 GDP 成長率は前年比 +5.9% と前年同期の同 +6.5% から 0.6% ポイント鈍化した。製造業、サービス業、建設は堅調に推移しているものの、農業に深刻な旱魃の影響が残っているほか、鉱業は前年からの反動と市況低迷を背景とした生産の落ち込みから前年比マイナスで推移している。こうした中で政府は 2016 年通年の成長率目標を当初の +6.7% から +6.3~6.5% に下方修正した。なお、四半期ベースの成長率は 1-3 月期前年比 +5.48%、4-6 月期同 +5.78%、7-9 月期同 +6.40% と成長テンポは加速している。また 2017 年については成長率目標を +6.7% とする「2017 年経済・社会発展計画」が 11 月 7 日に国会で採択された。
- ・ 1-10 月期の輸出は前年比 +7.2% と堅調だった。国内企業の輸出は同 -3.1% と低迷したが、輸出の約 7 割を占める外資系企業の輸出が同 +11.9% と好調だった。品目別には輸出の約 2 割を占める電話・同部品が同 +10.3% と依然として前年比二桁の拡大を続けている。こうした中でサムスン電子のスマートフォン「ギャラクシーノート 7」の生産中止（10 月半ば）の影響が懸念されている。



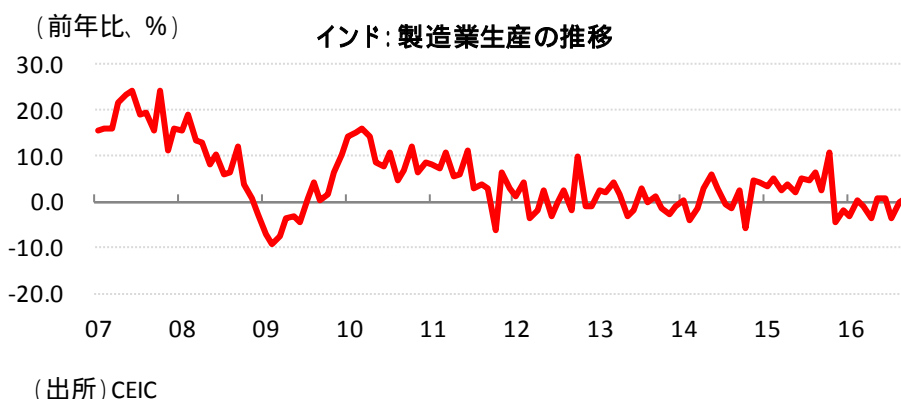
【ベトナムの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/7月	16/8月	16/9月	16/10月
GDP (yoy)	実質 GDP (yoy)				6.8	7.1	5.5	5.8	6.4				
	(ytd, yoy)	5.4	6.0	6.7	6.5	6.7	5.5	5.5	5.9				
	農業	2.7	3.5	2.4	2.1	2.4	1.2	0.2	0.7				
ytd	工業・建設	5.4	7.1	9.6	9.6	9.6	6.7	7.1	7.5				
生産	鉱工業生産 (ytd, yoy)	5.9	7.6	9.8	10.1	9.8	6.3	7.5	7.0	7.2	6.9	7.0	7.2
消費 ytd	小売売上 (名目, yoy)	12.6	10.6	9.5	9.8	9.5	9.1	9.5	9.5	9.4	9.3	9.5	9.3
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	0.0	2.4	3.6	0.2	0.1	1.5	0.2	2.0	0.6	0.6	0.9	0.4
	輸出 (yoy)	15.3	13.8	7.9	9.1	4.3	6.6	5.1	9.3	4.3	11.8	12.0	7.6
	輸入 (yoy)	16.0	12.0	12.0	11.7	3.4	4.4	2.6	4.1	3.0	9.9	5.8	14.4
国際収支	経常収支 (10億ドル)	7.7	9.4	0.9	0.5	1.1							
	外貨準備高 (10億ドル)	25.5	33.8	27.9	30.3	27.9	31.2	34.6					
物価	消費者物価 (yoy)	6.6	4.1	0.6	0.5	0.3	1.3	2.2	2.8	2.4	2.6	3.3	4.1
	株価指数 (VN index)	504.6	545.6	579.0	562.6	579.0	561.2	632.3	685.7	652.2	674.6	685.7	675.8
金融	リファイナンス金利 (%)	7.00	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50
	為替レート (ドン/ドル)	20,949	21,159	21,692	21,818	21,890	21,884	21,885	21,911	21,862	21,921	21,949	22,039
	為替レート (円/100ドン)	0.47	0.50	0.56	0.56	0.55	0.53	0.49	0.47	0.48	0.46	0.46	0.47

(出所) ベトナム統計総局 HP、CEIC (注) yoy = 前年比 (%), ytd = 年初来累計ベース。

## 5. インド経済の概況

- ・景気の基調は依然として弱い、一部に持ち直しの動きも見られる。
- ・十分な降雨量を背景に農業生産は順調に推移しているとみられる。一方、鉱工業生産は海外需要の低迷を背景とした輸出・投資の伸び悩みから弱含みで推移していたが、9月単月では製造業生産が3カ月ぶりに前年比プラスに転じたことを受けて同+0.7%に持ち直した。
- ・インド準備銀行(中銀)は10月4日、9月に就任したパテル新総裁の下、金融政策委員会の初会合で政策金利の引下げ(6.50% 6.25%)を決め、物価の安定基調を背景に景気を下支えする姿勢が示された。物価の安定基調が続く中、次回会合(12月初)での追加利下げへの期待が高まっている。
- ・モディ首相は11月8日の午後8時のテレビ演説で翌9日午前0時に最も高額な1000ルピー札と500ルピー札を廃止すると発表した。高額紙幣の突然の無効化は大量に出回っているとされる偽造紙幣や脱税の締め出しを狙ったものである。12月30日までに銀行か郵便局に持ち込めば新紙幣と交換できるが、現金決済が一般的な中、短期的には混乱があるとみられている。ただし、経済活動の透明性が高まる一方で電子決済の利用が進むなど中長期的にはメリットがあると考えられ、全国の間接税を統一する物品サービス税(GST)の導入と並ぶモディ政権の大改革と位置づけられている。



【インドの主要経済指標】

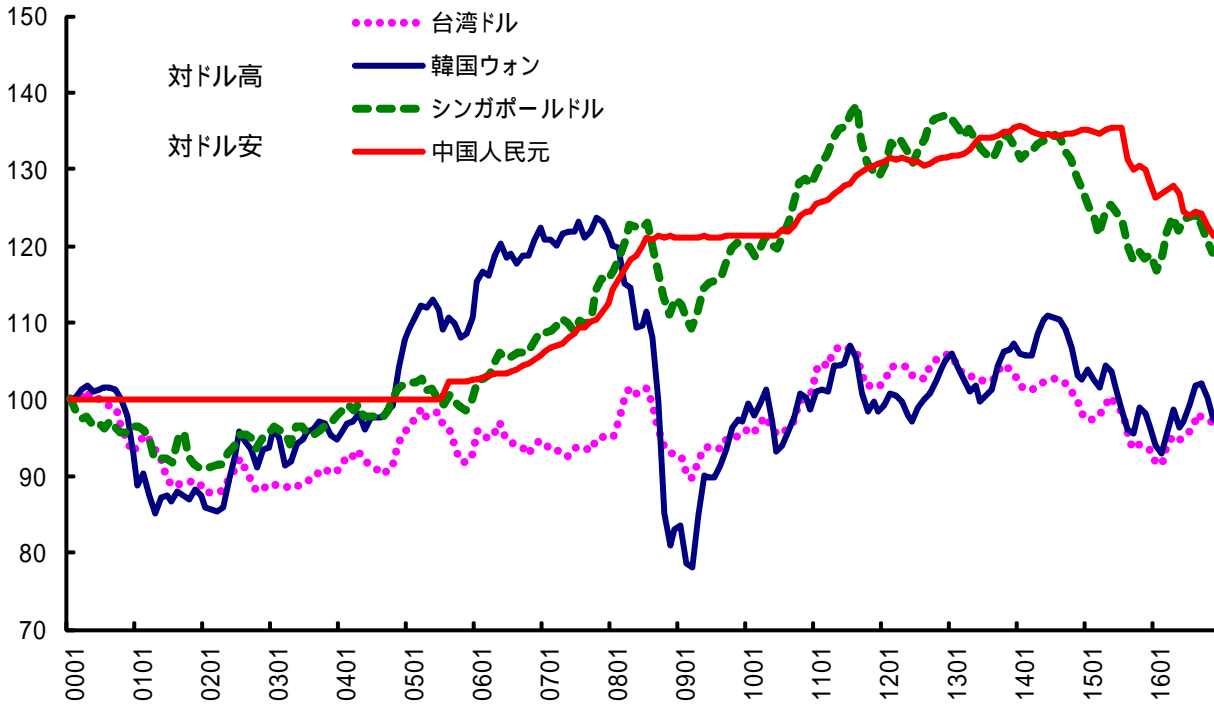
		2013年	2014年	2015年	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/7月	16/8月	16/9月	16/10月
GDP (yoy)	実質GDP	6.3	7.0	7.2	7.6	7.2	7.9	7.1					
	農業生産	13.2	4.8	5.3	1.7	4.5	7.0	8.2					
	実質GDP(年度)	6.6	7.2	7.6									
	農業生産(年度)	13.2	4.9	4.9									
生産	鉱工業生産(yoy)	0.6	1.8	3.2	4.8	1.7	0.2	0.7	0.8	2.5	0.7	0.7	
消費	新車販売台数(yoy)	7.5	0.8	7.7	6.2	14.6	2.5	6.7	17.8	16.8	16.7	19.9	4.5
輸出入	貿易収支(10億ドル)	150.6	140.4	126.0	35.7	31.5	18.6	19.2	23.7	7.8	7.6	8.3	10.2
	輸出(yoy)	6.1	2.4	17.0	18.1	19.1	7.8	1.5	0.9	6.8	0.3	4.6	9.6
	輸入(yoy)	5.0	0.5	14.9	15.3	19.0	13.3	14.7	12.3	19.0	14.2	2.5	8.1
国際収支	経常収支(10億ドル)	49.2	27.5	22.5	8.6	7.1	0.3	0.3					
	外貨準備高(10億ドル)	267.7	295.9	327.8	326.8	327.8	336.1	339.0	346.7	341.0	341.3	346.7	341.9
物価	卸売物価(yoy)	6.3	3.8	2.7	4.6	2.3	0.8	1.4	3.7	3.7	3.9	3.6	3.4
	消費者物価(yoy)	10.1	7.2	4.9	3.9	5.3	5.3	5.7	5.2	6.1	5.0	4.4	4.2
金融	マネーサプライ(M3, yoy)	14.8	10.7	10.7	10.7	10.7	10.1	10.3	14.6	10.0	10.4	14.6	10.9
	株価指数(BSE Sensitive)	21,171	27,499	26,118	26,155	26,118	25,342	27,000	27,866	28,052	28,452	27,866	27,930
	T B3ヶ月	8.81	8.65	7.65	7.32	7.16	7.27	6.80	6.55	6.56	6.56	6.52	6.36
	為替レート(ルピー/ドル)	59.0	61.1	64.3	65.4	66.1	67.6	67.1	66.9	67.0	67.0	66.7	66.9
	為替レート(円/ルピー)	1.66	1.74	1.88	1.86	1.84	1.70	1.59	1.53	1.55	1.54	1.51	1.58

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、GDPは年次は2013年から新基準。年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。

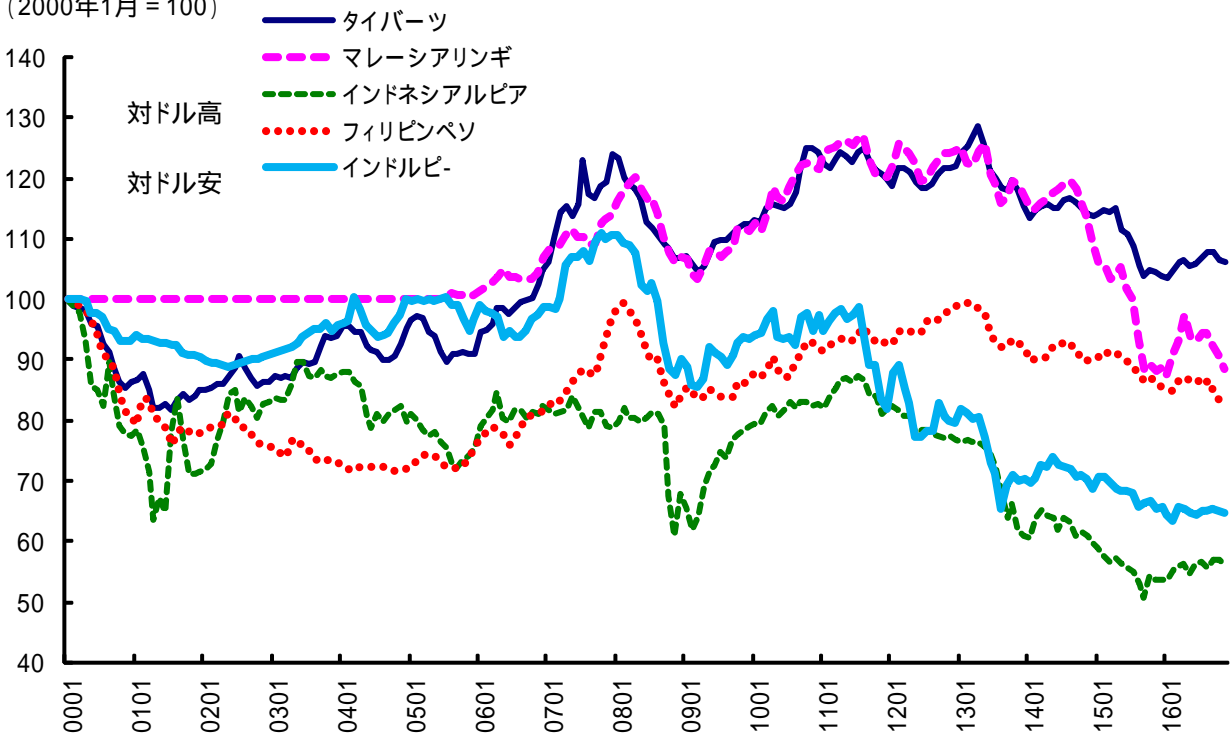
アジア通貨・株価動向

アジア通貨の対ドル相場の推移

(2000年1月 = 100)



(2000年1月 = 100)

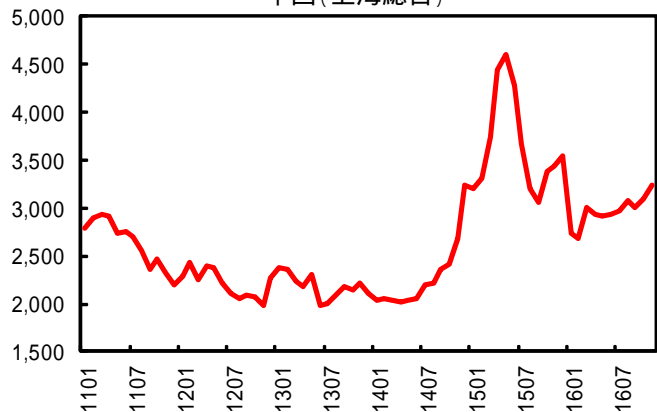


(出所) CEIC

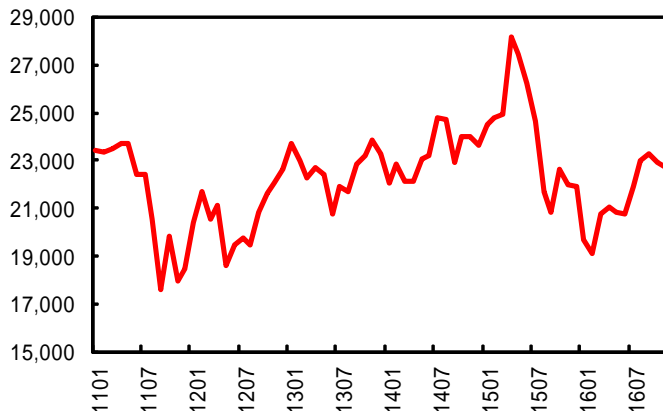
(注) 直近は2016/11/1-11/23の平均値。

## アジア諸国の株価動向（月末値）

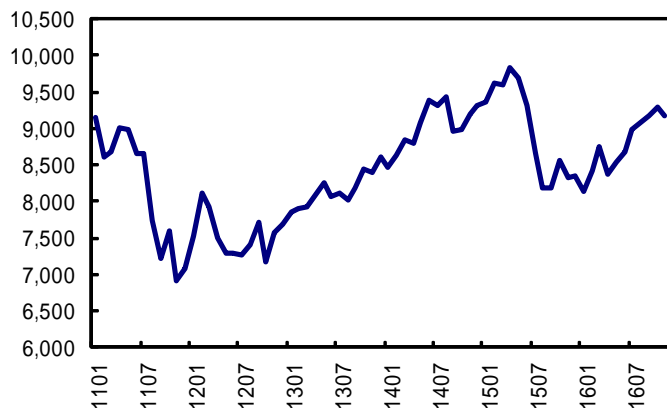
中国(上海総合)



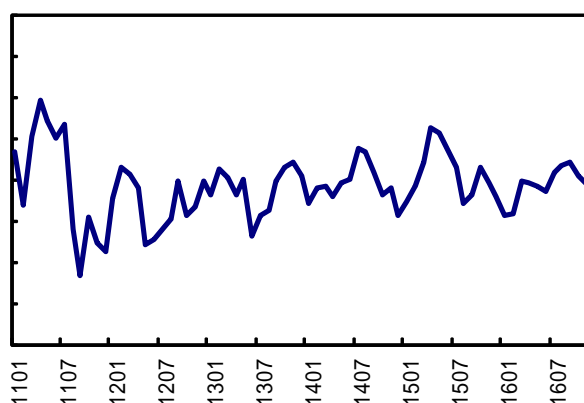
香港(ハンセン指数)



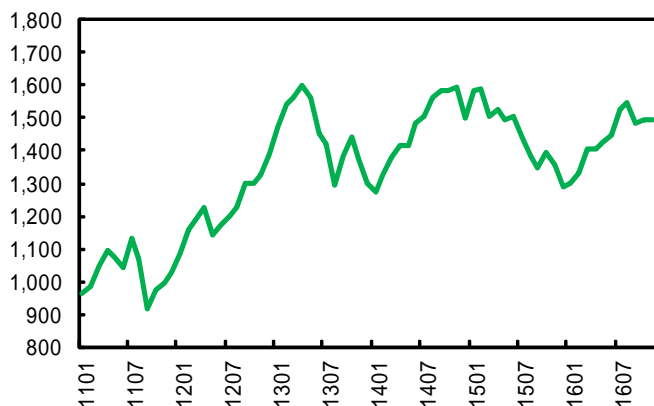
台湾(加権指数)



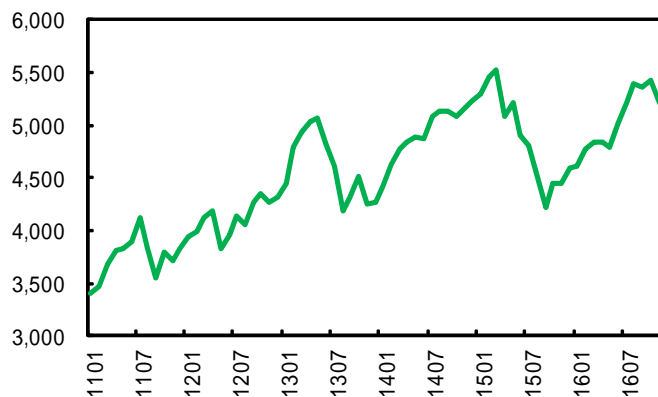
韓国(総合指数)



タイ(SET指数)



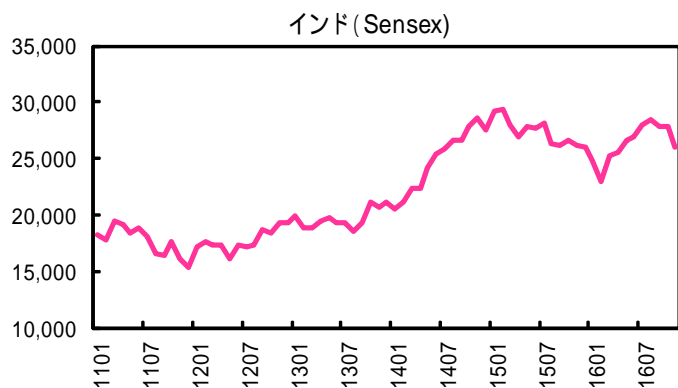
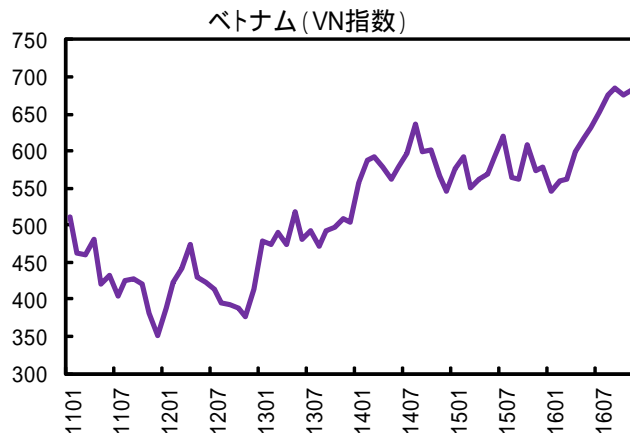
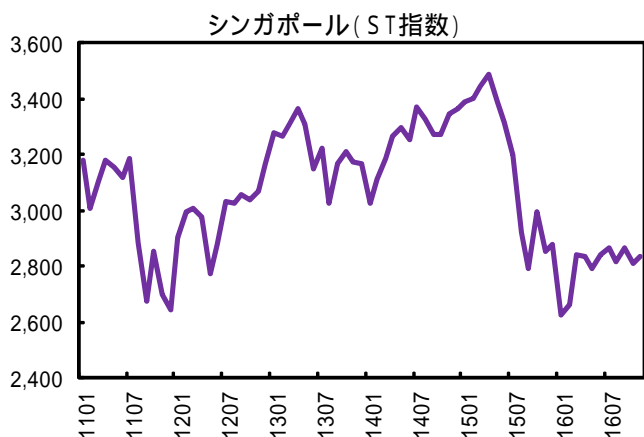
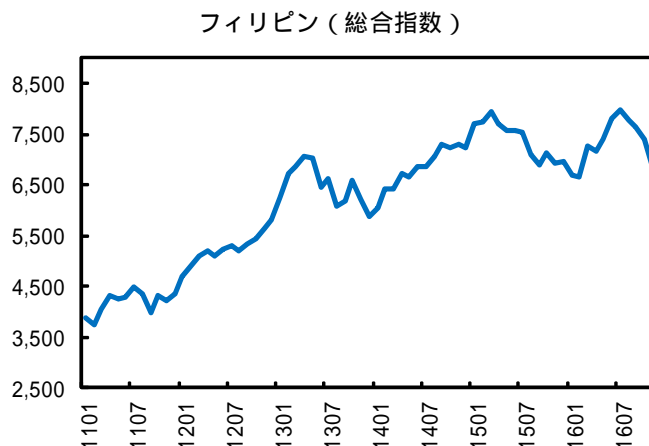
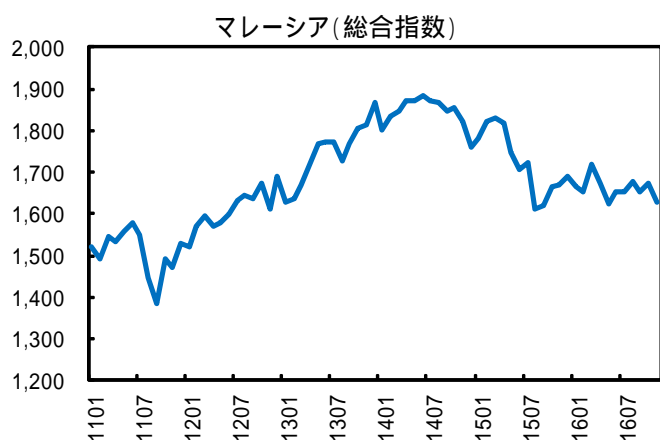
インドネシア(総合指数)



(出所) CEIC

(注) 直近データは2016/11/23終値。

## アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

(注) 直近データは2016/11/23終値。



- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。